

2023年10月10日 第470号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

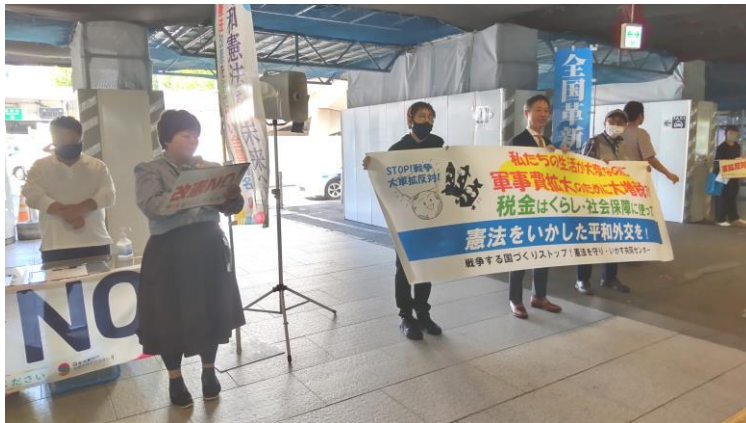
## 憲法共同センター「9の日」宣伝

### 時代錯誤の「埼玉県虐待禁止条例改正案」阻止！

### 大軍拡・大增税反対！ 敵基地攻撃能力の保有許さない！

憲法共同センターは10月10日昼、新宿駅西口地下で「9の日」宣伝を行い、8団体22人が参加しました。「軍拡・増税に反対する署名」には17の方が協力してくれました。

日本共産党の宮本岳志衆議院議員は、「大軍拡・大增税などとんでもない。憲法9条をないがしろにして戦争できる国へと段取りを進めるのではなく、国連憲章を原理・原則とした平和外交こそ進めるべき」と強調しました。



全労連の稲葉美奈子常任幹事(写真)は、「岸田政権は、国民の声を聴くと言いながら、大軍拡・大增税、入管法の改悪、健康保険証廃止、インボイス制度など国民の声を無視して強行している。専守防衛を180度転換し敵基地攻撃能力を保有し、戦争する国にする岸田政権に政治は任せられない」と批判しました。

民青同盟の青山昴平中央常任委員は、「IAMD(統合防空ミサイル防衛)に参加することは日本を守るためではなく、自衛隊が米軍の指揮下で参戦するためだ。敵基地攻撃能力を保有し、ミサイルを大量に配備すれば中国や北朝鮮の緊張をあおるだけだ」と指摘しました。

全日本民医連の徳山通常駐理事は、宮子あずささんのコラムを紹介しながら、埼玉県虐待禁止条例改正案に反対する声広がっている状況などについて話し「子育て中の看護師への影響は、はかりしれない。憲法に基づいた子育てしやすい環境をつくるのが大事だ」と強調しました。

全国革新懇の小田川義和代表世話人は「埼玉県虐待禁止条例改正案は、子育てしながら不安定雇用で仕事を掛け持ちして働いている非正規労働者のことなど考えていない。子どもの面倒は母親が見るものと考えているような時代錯誤の条例だ。働く権利や個人の尊厳を尊重するものではない。地方議会といえどもこんな条例が出るのも、副大臣・政務官に1人の女性がいなくても恥じない政党が政権についているからではないか。ジェンダー平等、平和の実現の課題でも、憲法をないがしろにする政治、政党では、私たちの明日の展望は開けない」と批判しました。